

## 教員と教師

「教員採用試験に合格し、教員になった皆さん、おめでとうございます。本日から、子どもや保護者から信頼される教師を目指そうではありませんか。」

年度当初の辞令伝達式で、私はこう述べました。

令和3年1月、中央教育審議会は「令和の日本型学校教育の構築を目指して」と題する答申をまとめ、これからの学校教育の方向性を示しました。答申はまず、東日本大震災の折、略奪や暴動もなく、支援物資をもらうために混乱なく並ぶ姿を世界が賞賛したことを取り上げています。そして、日本人の道徳心の高さは、明治以来、全人格的な教育を目指してきた日本型学校教育の成果であるとし、今後もそのよさを引き継ぎ、発展させるべきである、としています。



全人格的な教育を担う教師には、学習指導や生徒指導などに関する専門性のほか、豊かな人間性が求められます。人によって態度を変えない、約束を守る、感情に振り回されない、寛容である、思いやりがある、人の話をよく聞く、といった人間性は、教師が子どもや保護者、地域の人々とよりよい関係を築く上で極めて重要です。

教員の「員」には、「組織の一員」という意味があり、銀行員や郵便局員という語を形成します。一方、教師の「師」は、「専門的な技能を有する者」という意味を有し、医師や薬剤師といった語を形成します。ちなみに「師」には、「人の手本となる者」という意味もあります。

辞令伝達式では、学習指導要領の記述が解説も含めて全て「教師」で統一されていることにも触れ、私自身、専門性と人間性を高め続ける決意を、改めて固めた次第です。

### 怒らないこと

文筆家、クリエイティブディレクター 松浦弥太郎

誰でも自分の内側に、感情をたたえたプールがあります。カチンときたら波立つし、プライドが傷付けば沸騰するし、自分の大切な領域を侵害されたらうねりが起きます。かくして怒ってしまうのですが、怒ったところで解決するでしょうか？ 何かいいことがあるでしょうか？ 「怒らないこと」を日々の課題にしましょう。昔の人が言うように、むっとしたら10数え、心のプールが静かになるのを待ちましょう。

出典：「しごとのきほん くらしのきほん 100」（マガジンハウス）

※ 誰の心の中にも感情をたたえるプールがある。その状態を平静に保つよう、努めたいものです。